

一緒に都市復興のあり方を考えていきませんか

第2回 事前復興まちづくりミーティング

令和8年3月7日（土）



お願い

- 座席についたら、席上の名札にニックネームを書いてください。
- 14時に開会します。開会時刻にはお席についてお待ちください。
- 参加者ご自身による写真・動画の撮影、録音はご遠慮ください。

本日の流れ

1. **主管課説明**：区のこれまでの取組・都市復興の理念・目標（案）について
2. **基調講演**：「個々人の希望から事前復興のシナリオを考える」
益子 智之 先生（早稲田大学 社会科学総合学術院 講師）

- 休憩 -

3. **まちあるき&グループワーク**：
「まちあるきから考える都市復興の目標づくりワークショップ」
 - ① 区役所周辺のまちあるき
 - ② まちあるきを振り返り、杉並のまちの姿をみつめ直そう
 - ③ 復興後の理想的な杉並のまちの姿をイメージして「都市復興の目標」を共に描こう
4. **グループワーク発表**

事前復興まちづくりミーティングの目的

区がやろうとしていること

いつ起きるか分からない災害に備えて、**都市復興の理念や目標を事前に検討し、（仮称）杉並区事前復興まちづくり方針**としてまとめておく

事前復興まちづくりミーティングの目的（全3回）

- ・都市復興の理念・目標について、一緒に考える
- ・参加してくださった皆様が、復興について考えるきっかけをつくる

第2回事前復興まちづくりミーティングの目的（本日）

まちあるきの小さな気づきから、復興後の杉並で見たいシーン・風景
＝復興の目標を考える

復旧と復興は異なります

復旧 …被災する前の状態に戻すこと （マイナスをゼロに）

復興 …被災する前の状態よりも、
良い状態にすること （マイナスからプラスに）

（参考）東京都震災復興マニュアルによる**都市復興**の定義
：旧状の水準を超えた新しい価値や質が付加された都市空間を生み出すための措置を講じること。



復興・復旧の事例（阪神・淡路大震災 1995.1.17）

復興の事例



松本線
幅員17m

【写真出典：神戸市HP 震災復興土地区画整理事業 「協働と参画のまちづくり」（パンフレット）】

復旧の事例

被害

- ★ 壁のひび割れ
- ★ 煙突の落下



復旧

- ★ 耐震工事



【写真出典：神戸市 風見鶏の館HP <https://kobe-kazamidori.com/history/>】

事前復興まちづくりとは？なぜ必要なの？

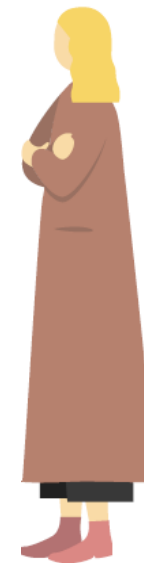
被災直後は…

日々の生活や
生活の再建で
精いっぱい



家族や親せきの
家に避難する
かもしれない

精神的な余裕が
持てず、冷静に議論
する自信がない



このような状況が想定されるため

迅速な都市復興ができるよう、

“災害が発生する前”に、必要な事項を準備しておくこと

が必要です。8

防災・減災とは異なります

防災・減災

災害による被害が
おきないようにする・
最小限にするための取組

例えば…

無電柱化、狭あい道路の拡
幅、耐震・不燃化の促進、
備蓄品の確保



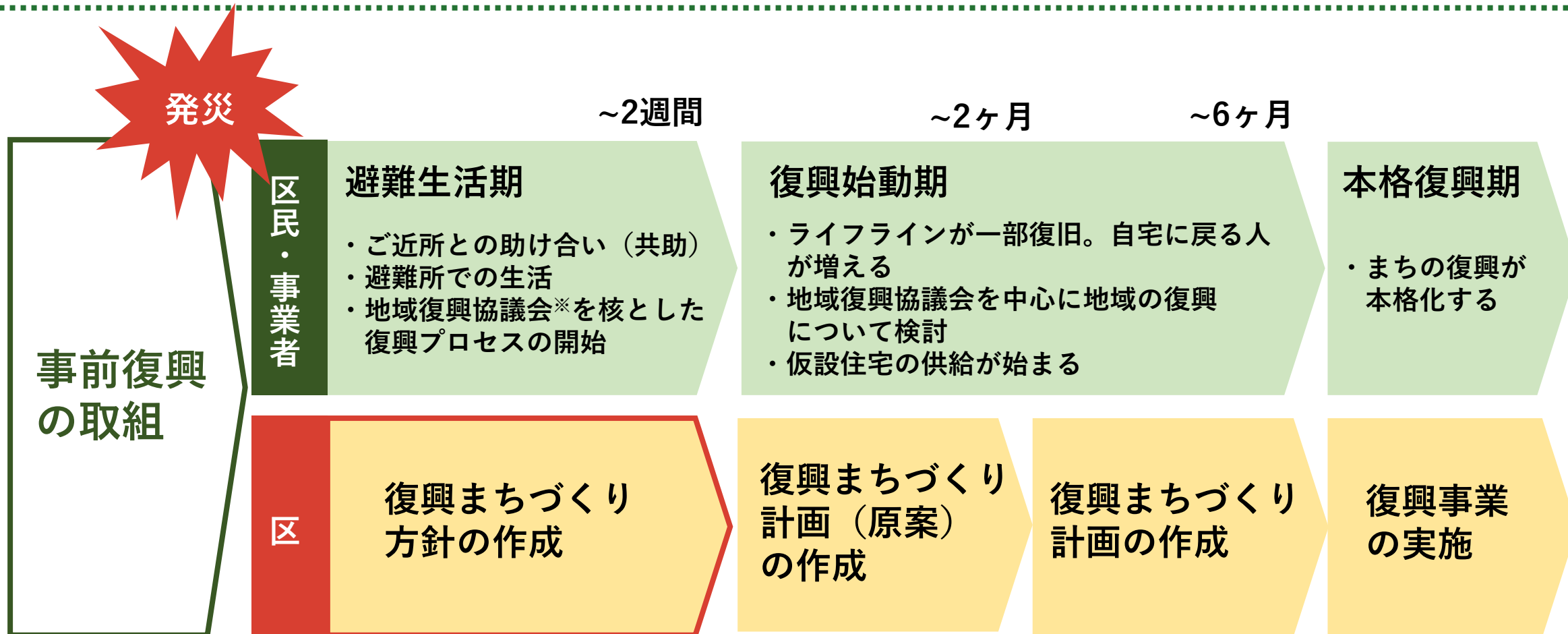
事前復興

それでも発生してしまう被害
に備え、予め復興に向けた
準備をしておく取組

例えば…

復興事業の周知、
復興手順や体制の検討・確立、
地籍調査の実施

震災後の都市の復興プロセス



※東京都震災復興マニュアル（復興施策編）（令和7年3月修正）をもとに作成

※地域復興協議会…被災地域の住民や事業者等が主体的に参画し、地域力を生かして復興に取り組む核となる組織

事前復興まちづくりで何を検討するの？

迅速な都市復興ができるよう、
“災害が発生する前”に、必要な事項を準備しておくこと。

・都市の復興のあり方（理念・目標・手法）の検討



区民の皆様と区で
検討していきます

・復興手順の検討、復興体制の構築

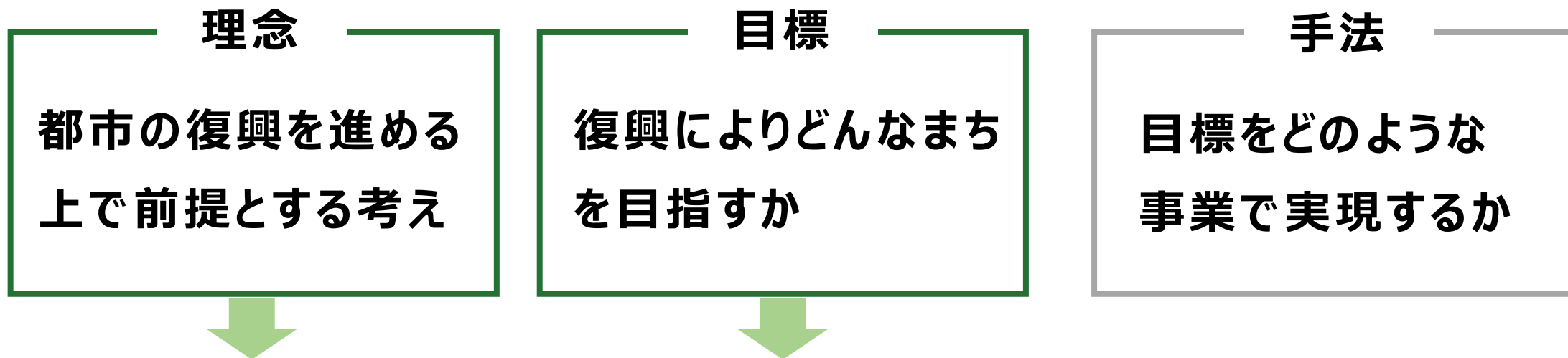


主に区で準備を
していきます

・復興に当たって必要となる基礎データの整理

事前復興まちづくりで何を検討するの？

都市の復興のあり方



令和7年度から令和8年度にかけて、区民の皆様と共に考え、「(仮称)杉並区事前復興まちづくり方針」としてまとめます。

方針策定に向けたスケジュール

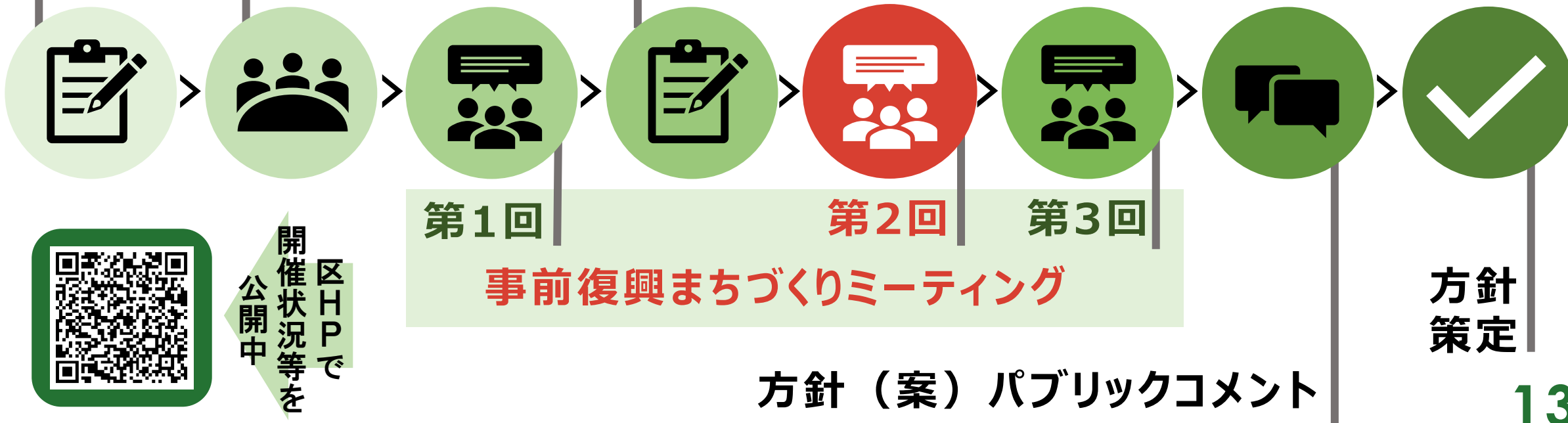
R7年度

R8年度

R7.7-8 アンケート調査

R7.9.20 聴くオフ・ミーティング

R7.12-R8.1 関係団体向けアンケート調査



13

関係団体向けアンケート実施結果

調査対象

- 町会
- いきいきクラブ※
- 杉並区障害者団体連合会構成団体
- 小・中学生保護者
- 区内商店会
- 東京商工会議所杉並支部

※いきいきクラブ…生きがいを高めるためにさまざまな活動を行う、おおむね60歳以上の区民による自主的な団体。

調査概要

調査期間：令和7年12月～令和8年1月

調査方法：調査票の郵送、手渡しまたはメール等による依頼

回答方法：郵送による回答またはWeb回答

回収状況：有効回収数160件（郵送86件＋Web74件）

関係団体向けアンケート実施結果：意見の抜粋

町会

- そもそも復興とは何か、を十分に議論して建設的かつ独創性のある街づくりが大切。
- 復興を、危険箇所の解消や道路環境の改善、公共施設の適正配置、バリアフリー化など、平時からの課題を解決する機会として捉える視点が重要。
- 復興を支える基盤として、正確で迅速な情報発信の仕組みづくりが不可欠。
住民が必要な支援制度や手続きを迷わず利用できるよう、わかりやすい広報と相談体制の整備を進めてほしい。
- 発災直後は、目の前の混乱に対し、その場その場の対応しか出来ないだろうが、それでも常に「正常化」した時の「町の姿、形」を持っているべきだろう。

障害者団体

- 例えば電柱は地中に歩道は広く、車椅子でも子ども、高齢者、障害のある人とも手をつないで歩きやすい街になってほしいです。
- 公共施設建築の折には、高齢者や障害者施設や保育園の併設をお願いしたいです。
大人から子供まで、障害のある無しに関わらず、同じ建物で過ごし暮らし、交流のある時間を持ちながら、生活していきたいです。
- 新たな都市計画を作るのではなく震災前の状態、そのままの状態復興して欲しい。

関係団体向けアンケート実施結果：意見の抜粋

高齢者

- バリアフリーで高齢者も幼児も若い人も、皆が住みやすい、みどりの多い、病院、買物に便利な町づくりをお願いいたします
- 高齢者は毎日薬を服用している方が多いので、病院・薬局などの休みは困ります。

保護者

- もしも復興が必要となった時は、周りと比べて被害が大きかった、ということ。それは、地域に何かしら潜在的な課題があったということ。そのような状態のまま元通りにすることは望みません。
- 災害からの復興は、町の課題を解決するチャンス、という前向きな側面がある

商業系

- 土地境界を復元できる基準点や、それぞれの所有者名簿など、いざという時の備えを充実させる。これは行政まかせではなく、商店会としてできるだけことは自前でやるようにする。地元のことは地元に住んでいる人間が一番よくわかっている訳で、特に商店会長は責任がある。

関係団体向けアンケート実施結果：意見の抜粋

全体の傾向

- ライフラインの早期復旧を含めた**生活再建への支援**を望む声が全体的に多かった。
- その一方で、**道路の狭さや、燃えにくいまちへの改善、公園やみどりの充実、まちのバリアフリー化、利便性の向上**など、**復興を機にまちの課題を解決し、アップグレードを図りたい**、という前向きな提案も幅広い層から寄せられた。
- 特に、**復興期における地域のつながり、顔の見える関係、地域コミュニティ**を重視する意見と、「**誰ひとり取り残したくない**」という意見が、各団体から多く寄せられた。

ゆう杉並 (児童青少年センター) シールアンケートについて



事前復興まちづくりについて、
子どもたちの意見を聞いてきました。



実施期間：令和7年12月10日(水)～12日(金)

対象者：ゆう杉並 (児童青少年センター) 利用者 (小・中・高校生)

回答者：123名

回答方法：アンケートパネルへのシール貼り付け (1人1枚)

Q. 選択肢の中で、あなたの思う理想の(復興後の)すぎなみに一番近いイメージは？ (一つ選択)

選択肢	得票数	得票割合	順位
遊びや運動ができる公園・オープンスペースが多い	35	28.5%	1位
勉強などに使える居場所が近くにある	26	21.1%	2位
商店街のイベントや地域のお祭りがたくさん	20	16.3%	3位
道路が広くて安全	18	14.6%	4位
お出かけや通学に便利	13	10.6%	5位
まちにみにみどりが多い	11	8.9%	6位
合計	123		

第1回事前復興まちづくりミーティング開催結果

開催日時：11月24日（月・休）

14:00～16:30

参加者：21名（区内在住・在勤）

意見（フセン）の数：192件

（ワーク①40件 ②63件 ③89件）



第1回事前復興まちづくりミーティング開催結果



1. 主管課説明 – 15分

2. 基調講演・質疑応答 – 50分

「事前復興が切り拓く都市の未来」 益子先生

3. グループワーク – 50分

- ワーク① 震災後も大切にしたい
杉並の魅力と希望を語ろう
- ワーク② 復興を契機に解決したい
杉並のまちの課題を探ろう
- ワーク③ 復興後の理想的な杉並の
まちの姿を思い描こう



4. 発表・講評 – 20分

20

第1回事前復興まちづくりミーティング開催結果

コミュニティ・防災拠点

- 誰もが安心して暮らせるコミュニティ形成
- 商店街を防災と経済の拠点に
- 地域区民センターをにぎわい発信基地に
- 気軽に集まれる公共施設
- 誰もが情報を受け取れる環境づくり
- 地域を担うリーダーの育成
- 町会・自治会参加の促進

みどり・環境

- みどり豊かなまちなみの維持・形成
- 街路樹・屋敷林の保全
- 農地の保全・活用
- グリーンインフラの活用
- 公園を中心としたまちづくり
- 温暖化対策
- カーボンニュートラルの推進

住環境・都市デザイン

- 賑わいと静けさのメリハリある街づくり
- 駅近は低層集合住宅、戸建は郊外
- ゆとりのある住環境の維持
- 雑多なまちなみの魅力維持
- 歩きやすい道路
(ベビーカー・シルバーカー対応)

交通・移動

- 南北交通の改善
- 駐車帯の廃止
- 河川沿い道路の拡幅
- EVバス導入
- 自転車でも安全に通行できるまち
- マイクロモビリティ等の充実

文化・歴史の継承

- 荻外荘・角川庭園・大田黒公園の保全
- 大宮八幡宮・妙正寺など歴史的建造物の保護
- 阿波踊り・七夕祭りなど地域行事の継続
- 杉並の歴史教育（小中学校）

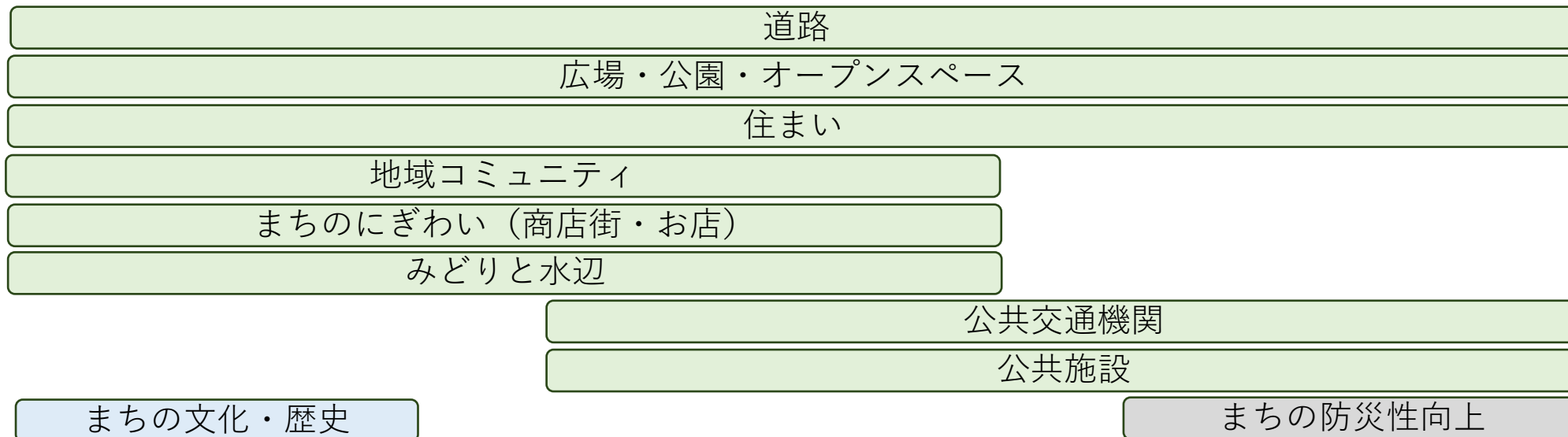
土地利用・空き家活用

- 区画整理で土地整備
- 小学校跡地の活用
- 空地の有効利用
- 空き家の買い取り・活用

防災・インフラ強化

- 震災・火災に強い建物
- 狭あい道路の改善・解消
- 避難路・オープンスペースの確保
- 災害時に利用できる公共施設（病院機能）
- 災害拠点病院・救援所へのルート確保
- 下水管更新・容量拡大
- 安全な街区形成
- 非常時の電源確保
- 無電柱化

都市復興の理念（素案）について



杉並らしさを
まもる

地域に根差してきた大切にすべき価値を、持続性の視点を持ちながら維持・継承していく。



1人1人の好きなところを
のばす

地域の魅力や生活の質、利便性などを高めることで将来のまちなぎの可能性を広げ、新たな価値を創出する。



安全性を高めるため
まちなぎの弱点を
なおす

既存の危険箇所や脆弱性を改善し、みんなが安心して暮らせる環境を構築する。

都市復興の理念（素案）について

ひと・かかわり

誰ひとり残さない復興／社会的弱者への安心の提供／リーダーの育成／相互扶助／相談できる場の整備／
地元、自治会や防犯、防災会等と、区の協同／学生の参画や民間やNPO、ボランティア団体との協同／
行政のリーダーシップ／自治会・町内会への参加促進／町内での平時からの連携強化／早くて正確な情報提供／
情報弱者がいないように／デジタル端末のみに頼らない／情報は多言語で伝える／復興に関わる人の安全確保

進め方・タイミング

話し合ったプロセスが納得につながる／復興計画は画一的である必要はない／優先順位をつける／
復興の内容の合意形成をスムーズに進める／住民の意向と時間（スピード）のバランス／
復興はスピードも大事／事業内容・進捗の見える化／役割分担の明確化／
生活再建のための緊急対策と大規模災害時の復興ビジョンは分けて考える／
過去の知見を学び、その知見を後世に残す／元の通りに戻すのが最適か、住民参加で議論／
意見交換会に出席できない人の声をたくさん集めてほしい／

復興まちづくりを **みんなで／適切なプロセス・タイミングで**

都市復興の理念（素案）について

杉並らしさを
まもる



1人1人の好きなところを
のばす



安全性を高めるため
まちの弱点を
なおす



復興まちづくりを

みんなでつなぐ

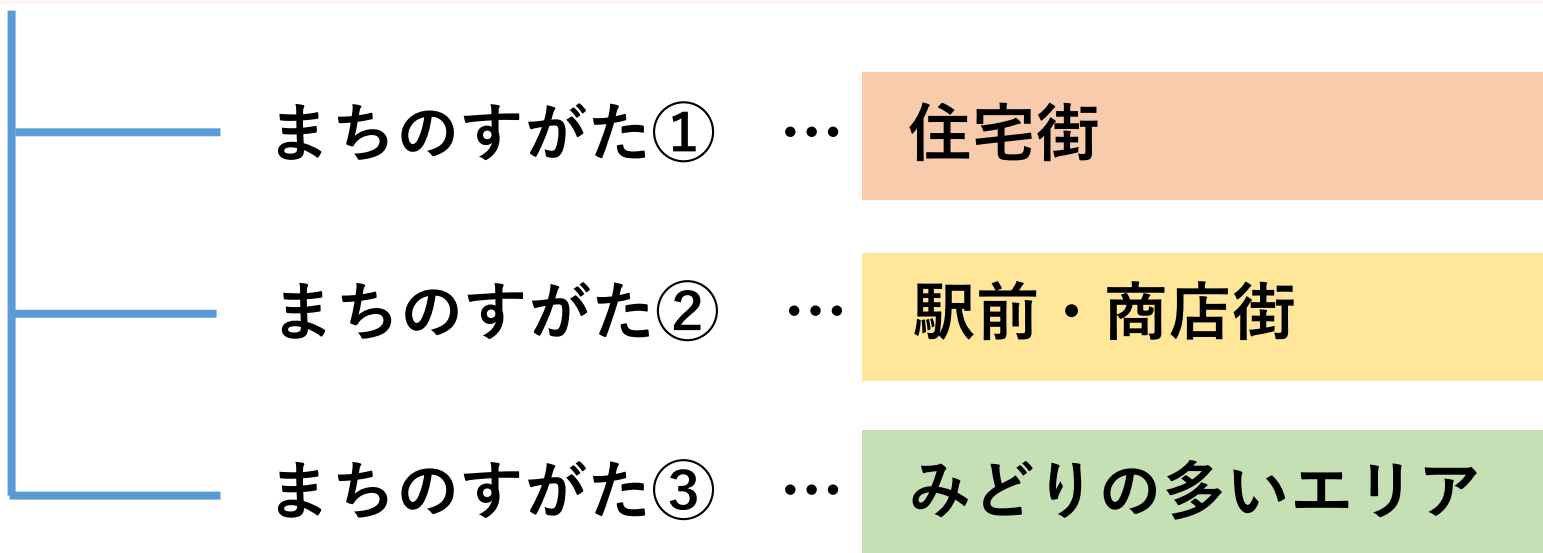
(仮) ～ まもる×のばす×なおす

みんなでつなぐ、かけ算の復興まちづくり ～

都市復興の目標（素案）について

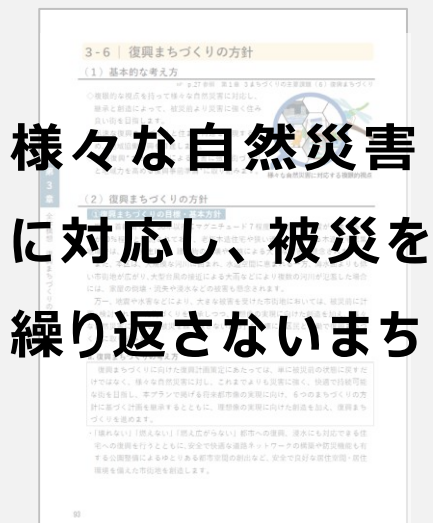
★都市復興の全体目標（将来像）

（全体目標：今回ミーティングまでの成果を踏まえて作成）



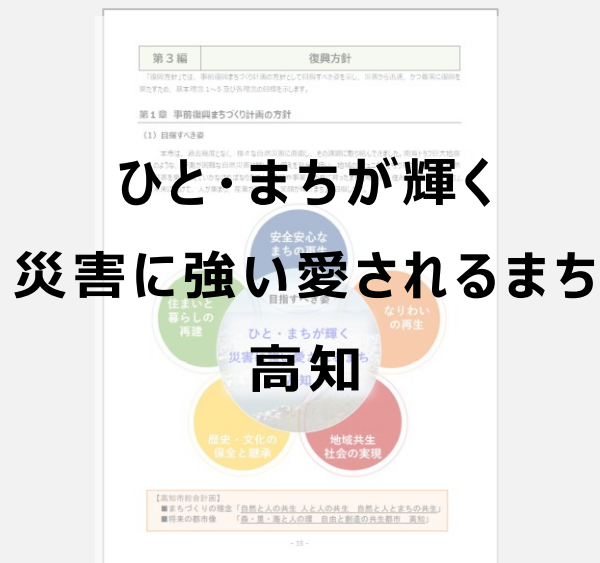
他の自治体の取組み例【目標等の一例】

東京都葛飾区



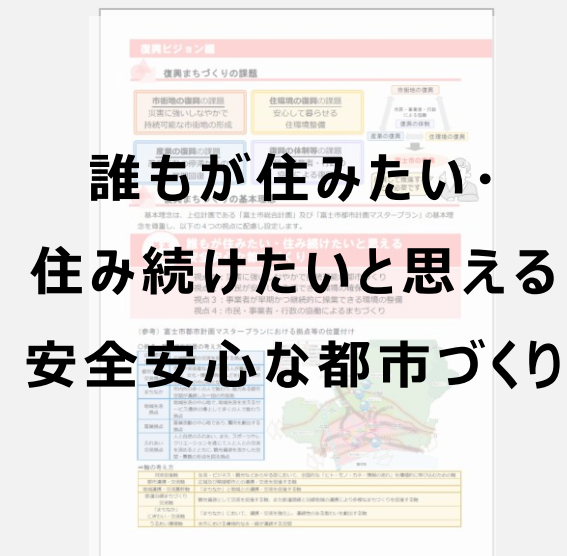
【出典】葛飾区都市計画マスタープラン
<https://www.city.katsushika.lg.jp/information/1000084/1030260/1006017/1033992.html>

高知県高知市



【出典】高知市事前復興まちづくり計画復興基本方針
<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/135/hukkoukihonhoushin.html>

静岡県富士市



【出典】富士市事前復興計画
<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1040050000/p007739.html>



掲載項目や取りまとめの方法は各自治体により様々です

(仮称) 杉並区事前復興まちづくり方針 構成案

第1章 事前復興まちづくりの考え方

- ・事前復興の背景と目的
- ・本方針の性格/役割
- ・他計画類との関係/位置付け

第2章 災害リスクと都市の復興について

- ・区の現状について（まちづくり基本方針より）
- ・区の被害想定、地域危険度について
- ・都市の復興について
- ・他分野の復興との連携

第3章 都市復興の理念および目標について

- ・都市復興の理念
- ・都市復興の目標

第4章 都市復興の流れや手法について

- ・都市復興フロー図（区民の動き、区の動き）
- ・各種復興事業の紹介、整備イメージ
- ・復興対象地区指定の考え方
- ・対話の記録

全体で20ページ程度を想定

※今後の検討により、章立てや項目が変更になる場合があります。

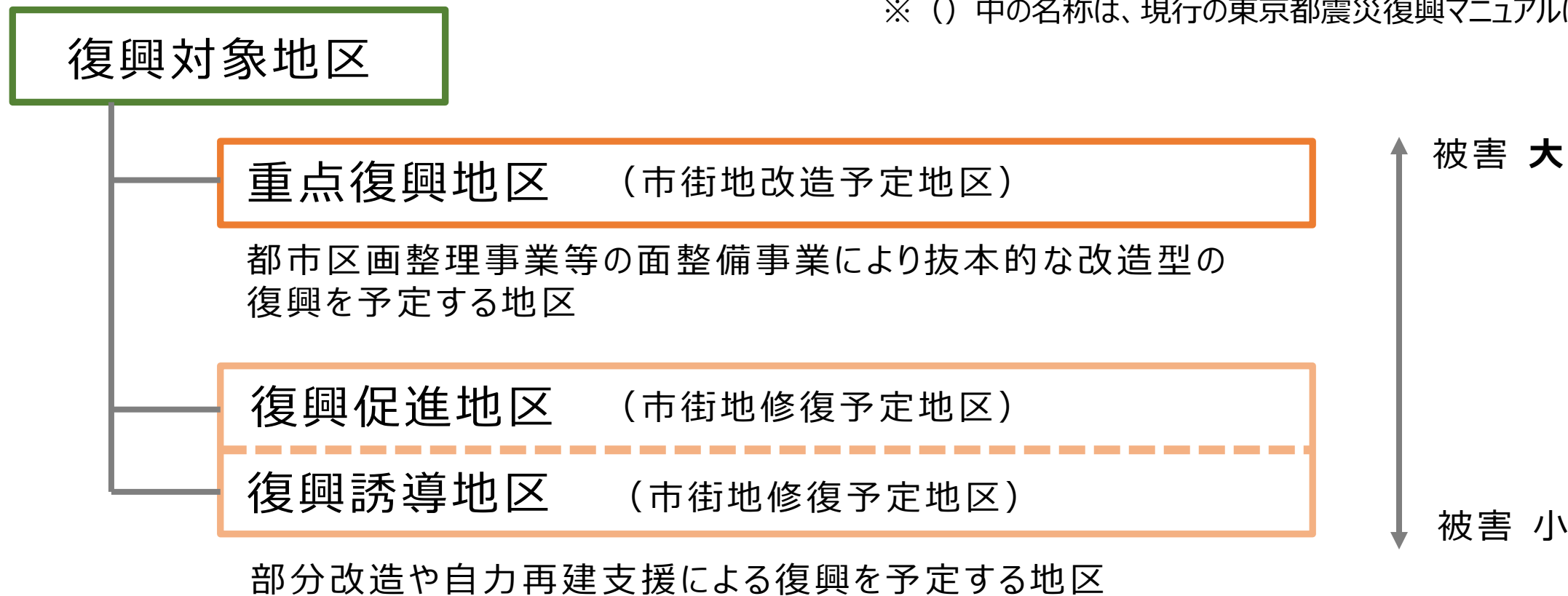
27

復興対象地区区分の考え方について

「杉並区震災復興基本方針」の中で区が指定する復興対象地区は3種類

※杉並区被災市街地復興整備条例・施行規則により規定

※（）中の名称は、現行の東京都震災復興マニュアルによる



復興対象地区区分の考え方について

情報共有

	大被害地区 概ね80%以上	中被害地区 50%~80%	小被害地区 部分的な被害	一般地区 軽微な被害 (条令に規定なし)
都市基盤 整備済み	復興促進地区 (市街地修復予定地区)	復興促進地区 (市街地修復予定地区)	復興誘導地区 (市街地修復予定地区)	地域主体の 復興まちづくり
都市基盤 未整備	重点復興地区 (市街地改造予定地区)	復興促進地区 (市街地修復予定地区)	復興誘導地区 (市街地修復予定地区)	地域主体の 復興まちづくり

市街地復興の対象地区

現行条例・施行規則、杉並区震災復興マニュアルより
 ※ () 中の名称は、現行の東京都震災復興マニュアルによる

今日、皆さんと話し合いたいこと

まちあるきから考える **都市復興の目標づくりワークショップ**

40分

まちあるき

みんなでまちを歩いて、
復興後のまちの風景のタネ
🌱を集めよう

15分

ワーク1

まちあるきの気付き = **風景**
のタネ 🌱を共有しよう

20分

ワーク2

復興後のまちで見たい風景
(シーン) を積み上げて、
都市復興の目標を探そう

いただいたご意見は…

杉並の都市復興について、参加者の皆様に考えていただく第一歩とするとともに、「(仮称) 杉並区事前復興まちづくり方針」における復興まちづくりの目標や被災後の土地利用の検討に活かしていきます。

グループワークについて

【みなさんと考えたいこと】

みなさんは復興後の杉並のまちで

どんな風景（シーン）を見たいですか？

まちあるきの小さな気づき

= 風景のタネ  から考えよう！

グループワークの流れ

40分

まちあるき

みんなでまちを歩いて、
復興後のまちの風景のタネ
🌱を集めよう

“良いと思ったこと”
“もっと伸ばしたいもの”
“改善したほうが良さそうなもの”等々、
小さな気づき = タネをたくさん集めよう。

15分

ワーク1

ひとり1人の気づき = 風景
のタネ 🌱 を共有しよう

風景のタネを出し合いま
しょう。気付いたこと、感
じたことはありますか？
自分の住むエリアと比べて
どうですか？
メンバーで、考えを出し合
いましょう

20分

ワーク2

復興後のまちで見たい風景
(シーン)を集めて、復興
の目標を探そう

あなたは、復興後のまちで
どのような風景 (シーン)
を見たいですか？
グループの仲間と共有しな
がら、まちの復興の目標を
探しましょう。

まちあるきについて

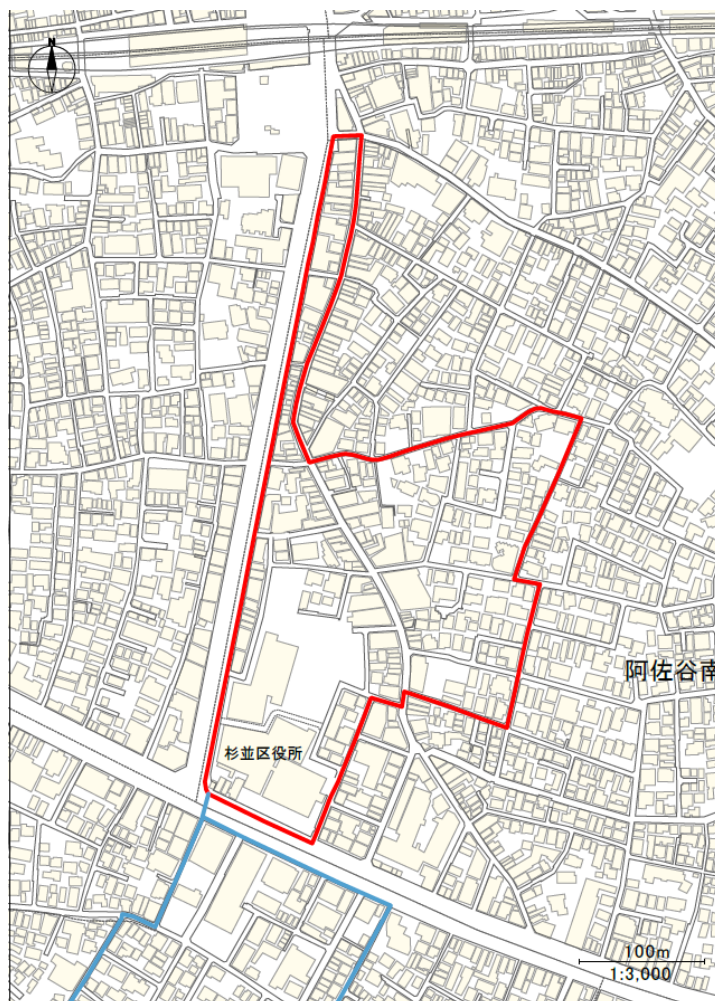
40分

ルート1：駅方面ルート（にぎわい・住宅街）

ルート2：善福寺川方面ルート（みどり・住宅街）

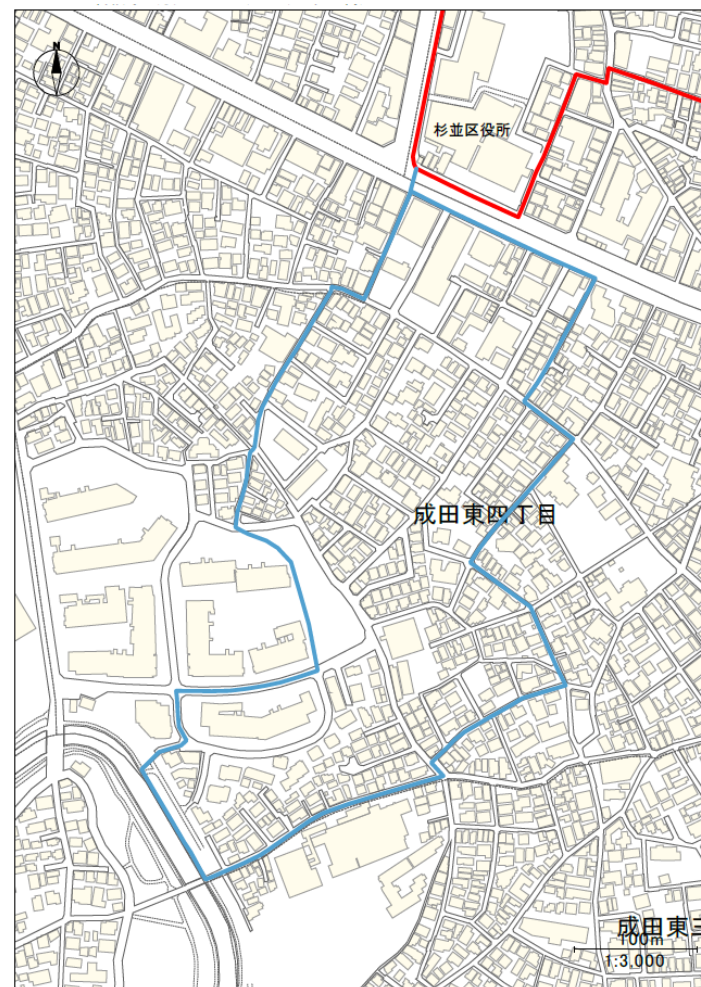
A班
時計回り

B班
反時計回り



C班
時計回り

D班
反時計回り



まちあるきについて

40分

【まちあるきの視点】

・これから歩く区役所周辺のまちには、**杉並の特徴**がたくさんあります。

・まちの課題と地域資源

= 復興後のまちの風景のタネ 🌱 を見つけよう！

★風景のタネ：“良いと思ったこと”“もっと伸ばしたいもの”“気になったもの”

“改善したほうが良さそうなもの”“ちょっと気になったこと”等々

・生活者の視点で気になった、ちょっとしたことを教えてください。

【お願い】

・阿佐谷地域の復興を考える会ではありません。気になったことや、みなさんの住むまちと比べて思ったこと、生活者目線のたくさんの気付きをお待ちしています！

34

まちあるきについて

40分

【みなさんとの約束】

- ・ **安全第一** でお願ひします。

- ・ 自己紹介の終わった班からご出発ください。

どうぞ、お気をつけて行ってらっしゃいませ！

たくさんの気付き = 風景のタネ 🌱 をお待ちしております！

グループワークについて

【3つの約束】

- ① 違いを楽しみ、受け入れよう
- ② 沈黙も大切に
- ③ 自分の周りにいる人たちの顔を思い浮かべてみよう

グループワークについて【ワーク1】

15分

【ワーク1内容】

Step 1

付箋に 記入

まちあるきを振り返り、**課題と地域資源 = 風景のタネ** 🌱 を共有する

★風景のタネ：“良いと思ったこと”“もっと伸ばしたいもの”

“改善したほうが良さそうなもの”等々

歩きながら見つけた**小さな気づき = タネ** 🌱 をたくさん共有しよう!!

【お願い・ルール】

- ・付箋を貼る際、**グループの仲間に簡単に説明**をしてください。

37

グループワークについて【ワーク1】

【ワーク1内容】

Step 2

色ペンで
囲む

Step 1 で貼ったフセンの中から

- ・自分の住むまちでも言えそうなこと、取り入れたいこと
- ・区内のほかのまちでも言えるかもしれないこと
- ・参考にしたいこと
- ・共感したこと を見つけよう

自分が「少しでも当てはまるかも」と思えば、色ペンで囲んでください。

グループワークについて【ワーク2】

【ワーク2内容】

20分

Step 1

付箋に
記入

ワーク1の結果を踏まえて、**復興後のまちはこのようなまちに
したいという小目標**を出し合おう

★小目標：“復興後のまちで見たい風景／シーン”

※シートに記載した「3つのまちの類型」ごとに整理してください

Step 2

ベスト4
に投票

特に採用したいと思った項目1つ（ベスト1）に星シール 

いいなと思った項目3つ（ベスト2,3,4）に赤シール 

【お願い・ルール】

・付箋を貼る際、**グループの仲間に簡単に説明**をしてください。

全体発表について

【発表する内容】

1班
3分

グループワーク1で、線で囲まれた**課題と地域資源 = 風景のタネ** 

グループワーク2で、シールが貼られた

小目標 = 復興後のまちで見たい風景 / シーン

を中心に、グループワークで話し合った内容を教えてください。

【お願い・ルール】

- ・各班でワークシートをホワイトボードに掲出してください
- ・各班の発表者は、3分程度で発表してください。
- ・A班から順に、参加者で各班を周りながら発表を聞きます。